

在職者訓練コースのご案内



寒さが和らぎ、春が近づいてまいりました。まもなく新しい年度が始まりますね。

ポリテクセンター兵庫の平成31年度在職者訓練コースガイドの配布が始まり、ホームページにも31年度の訓練コースを掲載しております。

ぜひご活用ください。

※以下の「機械」「電子」等の分野をクリックすると、訓練コース詳細ページに移動します。

(分野)	(コース番号)	(コース名)	(日程)
機械	M1521	空気圧実践技術	【4/23,24,25】
電子	E300A	有接点シーケンス制御の実践技術	【4/10,11,12】
	E301A	シーケンス制御による電動機制御技術	【4/24,25,26】
	E302A	実践的 PLC 制御技術	【4/18,19】
電気	E5041	電気設備のための計測技術	【4/17,18】
管理	B3001	生産現場に活かす品質管理技法	【4/23,24】
溶接	M2121	半自動アーク溶接技能クリニック（各種姿勢編）	【4/11,12】
	M2271	ステンレス鋼の TIG 溶接技能クリニック（薄肉固定管編）	【4/22,23,24】
	M2521	溶接作業改善のための施工実践	【4/13,20】

お問い合わせ先（セミナー担当）
〒661-0045 兵庫県尼崎市武庫豊町 3-1-50
ポリテクセンター兵庫 訓練第二課
TEL 06-6431-7277
FAX 06-6431-7285

申込書

＼クリック！／



機械

空気圧機器の正しい使い方をマスターしよう

コース番号	空気圧実践技術			
	日程	定員	受講料	時間
M1521	4/23,24,25 (3日間)	10名	16,000円	9:15~16:00
(内容)	空気圧システムの最適化をめざして、空気圧機器の構造・作動原理・JISによる回路図記号を理解した上で、実機に用いられる主要な制御回路の構成、動作特性を理解し、装置のトラブル防止や問題解決・改善に対応した職務を遂行できる能力を習得することを目標とします。			持参品
(項目)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧の概要 2. 空気圧機器の構成 3. 空気圧機器の制御 4. 総合課題 5. まとめ 			筆記用具、作業服（上着）、安全靴又は靴（サンダル不可） 使用機器・ソフト等 空気圧トレーニングキット

電子

有接点の動作原理や組み方を詳しく学びたい

コース番号	有接点シーケンス制御の実践技術			
	日程	定員	受講料	時間
E300A	4/10,11,12 (3日間)	10名	13,000円	9:15~16:00
(内容)	有接点シーケンス制御の図記号、回路図の読み方・書き方、制御機器の構造と機能、制御盤組立に必要な知識を理解し、電動機の制御回路(自己保持、インターロック、可逆運転、タイマー等)の配線作業を通して、電気設備において安全と品質に配慮した評価方法を習得することを目標とします。			持参品
(項目)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機器の構造・原理 2. 有接点回路（自己保持回路、タイマ回路等） 3. 連続運転回路 4. 可逆運転回路 5. 時限運転回路 			筆記用具 使用機器等 電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、ブレーカ、3相誘導モータ、回路計（テスト）、工具一式



有接点回路を設計したい

コース番号	シーケンス制御による電動機制御技術			
	日程	定員	受講料	時間
E301A	4/24,25,26 (3日間)	10名	13,000円	9:15~16:00
(内容)	電動機の原理・構造や制御機器の仕様、電動機の可逆運転、始動回路(スター・デルタ回路等)や制動回路(直流制動等)を、配線作業を通して理解し、回路設計およびその評価方法、および電気設備においての安全と品質に配慮できる実務能力を習得することを目標とします。			持参品
(項目)	1. 電動機の原理 2. 可逆運転回路 3. 始動回路 4. 制動回路 ※対象者：「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または有接点の基礎知識を有する方 ※前年度コース名：「有接点シーケンス制御による電動機制御の実務」			筆記用具
				使用機器等
				電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、ブレーカ、3相誘導モータ、回路計(テスト)、工具一式

PLC (iQ-Rシリーズ) を使いたい

コース番号	実践的PLC制御技術			
	日程	定員	受講料	時間
E302A	4/18,19 (2日間)	10名	10,000円	9:15~16:00
(内容)	三菱製PLC(iQ-Rシリーズ)のプログラム実習を通して、回路作成、モニタによる動作確認を行い、自動化設備のための実践的な回路設計・施工・保全業務において必要なPLC制御技術を習得することを目標とします。			持参品
(項目)	1. 概要 2. 機種構成と仕様 3. 基本(LD、AND、OR)命令 4. 各種制御回路(自己保持、インターロック等) 5. タイマ 6. カウンタ ※対象者：「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、またはPLCの基礎知識を有する方			筆記用具
				使用機器等
				三菱製PLC(iQ-Rシリーズ、64点入力ユニット、64点出力ユニット)、パソコン(Windows7)、開発ツール(GX Works3)、負荷装置(スイッチ、表示灯)

電気

安全の第一歩は正しい計測方法から

コース番号	電気設備のための計測技術			
	日程	定員	受講料	時間
E5041	4/17, 18 (2日間)	10名	12,000円	9:15~16:00
(内容)	電気に関する安全知識(感電災害防止及び過負荷・短絡、地絡保護等)をはじめとして、現場で使用する各種測定機器(テスター、検電器、検相器、絶縁抵抗計、接地抵抗計)の使用技術(接続、測定)を習得することを目標とします。			持参品
(項目)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気理論 2. 短絡・漏電 3. 接地・絶縁抵抗 4. 測定器具の取扱い 5. 課題 <p>※前年度コース名「現場のための実践的電気計測技術」</p>			筆記用具 使用機器等 テスター、検電器、検相器、メガー、接地抵抗計

管理



QC7つ道具・新QC7つ道具を活用し、生産現場の最適化を目指す！

コース番号	生産現場に活かす品質管理技法			
	日程	定員	受講料	時間
B3001	4/23,24 (2日間)	10名	12,000円	9:15~16:00
(内容)	製造現場で発生する問題について、量的および定性的な問題分析を行い、生産現場における業務の効率化・最適化(改善)による生産性向上手法の習得を目標とします。			持参品
(項目)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製造業における分析の技法 2. 製造業における解決技法 3. 製造業における事例実習 4. 課題実習 5. まとめ <p>※前年度コース名：「製造現場における問題発見・改善手法」</p>			筆記用具 使用機器等 -

[トップに戻る](#)

溶接

理屈をわかって溶接しよう

コース番号	半自動アーク溶接技能クリニック（各種姿勢編）			
	日程	定員	受講料	時間
M2121	4/11,12（2日間）	10名	15,000円	9：15～16：00
(内容)	半自動炭酸ガスアーク溶接施工で必要とされる各種姿勢によるすみ肉溶接や突合せ溶接作業の技能高度化をめざして、溶融池制御や電流、電圧、速度などの各種溶接条件についての理解を深め、課題実習を通してそれぞれの施工時における問題点を把握し、自己確認を行いながら実践的技能及び作業要領を習得することを目標とします。	持参品		
		筆記用具、作業服、帽子、安全靴		
		使用機器・ソフト等		
		炭酸ガスアーク溶接機		
(項目)	1. コース概要及び留意事項 2. 各種姿勢による溶接実習	※前年度コース名：「半自動アーク溶接実践技術（各種姿勢編）」		

ステンレスパイプの溶接の技術を上げよう

コース番号	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック（薄肉固定管編）			
	日程	定員	受講料	時間
M2271	4/22,23,24（3日間）	10名	25,000円	9：15～16：00
(内容)	TIG溶接の最適な溶接施工をめざして、課題実習を通して板材・水平・鉛直固定管の薄肉管溶接実習を行い、作業要領や適正条件を理解し、施工に関する技術・技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得することを目標とします。	持参品		
		筆記用具、作業服、帽子、安全靴		
		使用機器・ソフト等		
		TIG溶接機		
(項目)	1. コース概要及び留意事項 2. 安全衛生 3. TIG溶接の概要 4. 溶接実習 5. 評価と問題解決	※前年度コース名：「TIG溶接技能クリニック（ステンレス鋼・薄肉固定管編）」		

理論も伴った溶接をしたい

コース番号	溶接作業改善のための施工実践			
	日程	定員	受講料	時間
M2521	4/13,20（2日間）	10名	15,000円	9：15～16：00
(内容)	製造業種の（溶接製品等を生産している）中小企業において、製品の品質向上を図るため、溶接工程（溶接構造物生産ライン）に関して、溶接の理論と技術を習得することを目標とします。	持参品		
		筆記用具、作業服、帽子、安全靴		
		使用機器・ソフト等		
		被覆アーク溶接機		
(項目)	1. 溶接の理論と技術 2. 電気の知識と安全管理 3. 溶接冶金の知識 4. 溶接記号・設計に関する知識 5. 溶接施工に関する知識（理論と実技）	※前年度コース名：「溶接作業の品質改善（施工実践編）」		

在職者訓練受講申込書

ポリテクセンター兵庫 あて

FAX 06-6431-7285
E-mail hyogo-poly03@jeed.or.jp

在職者訓練について、受講上の注意を確認の上申し込みます。

年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日	フリガナ	生年月日 (西暦)	備考
			受講者氏名		
M1234	国際規格 ISO9606 に沿った 溶接技術 (板材編) 記入例	●月●日	ヒロコ タロウ 兵庫 太郎	19●●年●月●日	溶接工として 10年勤務
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	

- 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
- コース開始日7日前(土日・祝祭日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- 納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。
- セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、今回、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲で[備考]欄にご記入下さい(例: 切削加工作業に約5年間従事)。

受講区分(該当に☑印)	
<input type="checkbox"/> 会社	<input type="checkbox"/> 個人

● 「個人」でお申込みの方は(2)個人でお申込みの場合の欄に必ず記入をお願いします。

(1) 会社からの指示による受講の場合

貴社名			所属団体名		
ご連絡先	下記ご住所に受講票・請求書等をお送りします。また受講にあたってのご連絡はご担当者様あてにいたしますので必ずご記入ください。				
	会社ご住所 〒 -		所属部署名		
	ご担当者名				
	TEL	FAX	メール		
企業情報 該当に☑印	業種			社員数	
	<input type="checkbox"/> 金属製品製造業 <input type="checkbox"/> 非鉄金属製造業 <input type="checkbox"/> 一般機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電気機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電子部品・デバイス・電子回路製造業 <input type="checkbox"/> その他製造業 () <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 建設・設備工事業 <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上	

- 会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケートへのご協力をお願いしております。

(2) 個人でお申込みの場合(受講書類、請求書等は下記のご住所にお送りいたします)

ご連絡先	お名前		ご住所 〒 -		
	TEL	FAX	メール		

【個人情報の取扱いについて】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発業務に関する案内に利用させていただきます。

機構 使用 欄 (04)	返信	処理D	処理E	処理S
	/	/	/	/

トップに戻る